

「人の役に立つことができる」若者の育成を目指して

ボーイスカウト運動は、1907年イギリスから始まり、世界中に受け継がれ、現在では世界170の国と地域で4,000万人が参加しています。岐阜県下には25の団があり、幼稚園・保育園年長さんからお爺さん・お婆さん世代まで幅広い年齢層の男女が活動しています。ボーイスカウト運動は、性別・出生・人種・信条による区別なく誰をも対象にした、青少年のための自発的な非政治的な教育的運動です。

ボーイスカウト活動は、野外で、子どもたちの自発性を大切に、グループでの活動を通じて、それぞれの自主性、協調性、社会性、たくましさやリーダーシップなどを育てていきます。

岐阜県ユニセフ協会には設立当初から役員団体として参加し、県協会とともにユニセフを知らせる活動をしています。また、年末には各団が工夫をこらして、ユニセフハンド・イン・ハンド募金活動に参加しています。

2019年7月22日から8月2日までアメリカで開催された第24回ワールドスカウトジャンボリーには、170の国と地域から約4万人が参加しました。

岐阜県連盟からは15名で参加。世界中のスカウトと交流し、友好を深めることができました。



2019年11月9日 JR岐阜駅前で開催された「ユニセフ子どもの広場」では、牛乳パックを使ったブンブンゴマや割りばし鉄砲づくりコーナーを担当しました。多くの子どもたちと楽しみました。



2019年12月 第41回ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金活動で、たくさんの皆様のご協力をいただきました。22日には、関第1・第2団が市内のスーパー店頭でハンド・イン・ハンド募金を実施し、終了後、ユニセフ学習会をおこないました。自分たちが今日集めた募金で多くの子どもたちの命が救われることがわかりました。



ボーイスカウト岐阜県連盟 連絡先

〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-53 県民ふれあい会館第2棟9階
URL: <http://scoutgifu.net> Mail: bsgifu@quartz.ocn.ne.jp
TEL: 058-275-5356(平日10:00~15:00) FAX: 058-275-5355

ユニセフボランティア募集

岐阜県ユニセフ協会はボランティアのみなさんに支えられ運営しています。「できることを できるときにできる方法で」を合言葉に楽しく活動しています。世界の子どもたちのために一緒に活動しませんか。

…主な活動…

- イベント会場や街頭での募金活動
 - 学校等の依頼に応じて行う出前授業の講師
 - 機関誌・ニュースの作成 HP作成
 - 事務所での事務作業 など
- どうぞお気軽に当協会事務所までお問合せください。メールでのお問い合わせも受け付けています。

ユニセフ視聴覚ライブラリー (DVD・パネル)の貸出しをしています。

DVDは、「ユニセフの歴史」「世界の子どもたちの様子」「ユニセフの支援について」などのテーマで、6分から15分程度にわかりやすくまとめられています。小さなお子さんでも十分理解できる内容もあります。ご家庭で、子どもの会の集まりで、学校で、いろんな場面でご活用ください。貸出方法、DVDタイトル、内容については岐阜県ユニセフ協会ホームページでご確認ください。

岐阜県ユニセフ協会 検索



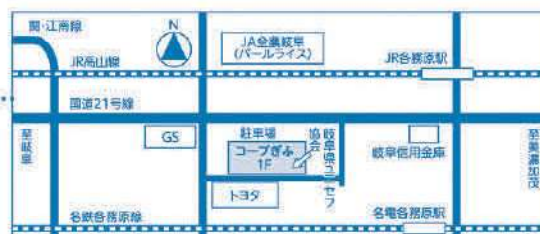
お気軽にお立ちよりください!

ユニセフ視聴覚ライブラリーの貸出し ユニセフの各種資料を取り揃えています。

岐阜県ユニセフ協会

〒509-0197 岐阜県各務原市鷺沼各務原町1-4-1
生活協同組合コープぎふ1階
☎ 058-379-1781 E-mail: gifuken@unicef-gifu.jp

★交通★
JR高山線
各務原駅下車(普通のみ停車)西へ徒歩8分
名鉄大垣線
名鉄各務原駅下車(急行停車)西へ徒歩8分



ユニセフ通信

2020年5月 No.17

unicef for every child

(公財)日本ユニセフ協会協定地域組織 / 岐阜県ユニセフ協会

〒509-0197 岐阜県各務原市鷺沼各務原町1-4-1
生活協同組合コープぎふ1階
☎ 058-379-1781 Fax 058-379-1782
E-mail: gifuken@unicef-gifu.jp
<https://unicef-gifu.jp/>

新型コロナウイルス感染から最も弱い立場の子どもを守り 世界で連携して行動を

新型コロナウイルス(COVID-19)は国や大陸を選ばず、世界中に感染拡大し、誰もが脅威にさらされています。そして、感染している子どもや若者に限らず、すべての子どもたちは深刻な影響を受けています。

石けんを使って正しく手洗いをすることは感染症から身を守る、最も安価で効果的な手段ですが、世界の4割の人は基本的な手洗いの設備が自宅にありません。

学校の閉鎖、休校は子どもたちの教育の機会だけでなく、給食での栄養補給、清潔な水の確保、保健プログラムなど学校で育む心身の成長の機会を奪います。そして、学校が休校し、仕事が失われ、移動が制限されている場合、子どもへの搾取、暴力、虐待のリスクが高まることは過去の経験が語っています。

更に、紛争地、難民キャンプで暮らす子どもたちの感染リスクは何十倍にも高まります。



ヨルダンで正しい手洗いの方法を学び、実践する女の子 @UNICEF/UNI313299/Matas (2020年3月10日撮影)

ユニセフは、支援物資を必要としている人々にできる限り早く届くよう、あらゆる努力をしています。

ユニセフは、国連世界食糧計画(WFP)、UNHCR、ユネスコなどの国連機関や現地NGOなどのパートナー、政府とともに最も脆弱な環境にいる子どもたちを守るために行動しています。

そして、ユニセフ事務局長ヘンリエッタ・フォアは「世界的停戦が、紛争下に生きる2億5,000万人の子どもたちの暮らしを大きく変える。」
「世界的停戦は、すべての人類、中でも最も脆弱な人々を脅かすCOVID-19のパンデミックを後退させる、協力と連帯の象徴となるものだ。」と声明を発表しました。



@UNICEF/UNI319776/Tesfaye

アディスアベバのCOVID-19陽性者隔離施設に送るための医療物資を準備する様子/エチオピア(2020年3月17日撮影)



@UNICEF/UNI313542/Ojo

ナイジェリアで行われた新型コロナウイルスの予防イベントに参加し、正しい手洗いの方法を紹介するポスターを持つファルディダさん(2020年3月20日撮影)



@UNICEF/UNI316672/FrankDejongh

保健所に入る前に検温を受けるコートジボワールの親子(2020年4月1日撮影)(日本ユニセフ協会HPより引用・抜粋)

日本ユニセフ協会は新型コロナウイルス緊急募金を受け付けています。

紛争や貧困などにより、以前から医療体制が脆弱な途上国において命の危険にさらされている子どもたちを最優先に、新型コロナウイルス感染拡大に対するユニセフの活動に役立てられます。

なお、本緊急募金にお寄せいただいたご寄付につきましては、日本を含む先進国は支援対象といたしません。

忘れてはいない シリア紛争

あれから9年 シリアに平和が訪れる日まで支援は続きます。

2011年3月の紛争勃発以来、中東のシリアでは、国中のインフラが破壊され、安全を求めて国内外に避難する人々が後を絶ちません。

人道支援が必要な子どもの数は、シリア難民を受け入れている貧しい周辺諸国の子どもたちも合わせて、1,200万人を超えています。

また、25万人以上の5歳未満の子どもたちが急性栄養不良、およびそのリスクがある状態です。

2020年1月 ユニセフ事務局長ヘンリエッタ・フォアは「2020年こそシリアに平和を」と願い、声明を発表しました。シリアの子どもたちの命が守られ、確保されるべき安全をもたらすことができるのは、戦争の終結だけだと言いきっています。しかし、その後の3か月で50万人以上の子どもが避難し、約180の学校が破壊されたり損傷したり、または国内避難民の避難所として使用されているため休校しています。

さらに、新型コロナウイルス感染拡大が悲惨な状況に追い打ちをかけています。シリア北東部地域では断続的な断水が起こり、安全な水の確保ができなくなっています。「子どもにとってきれいな水と手洗いは、命を守る手段です。水や給水施設が軍事や政治目的に使用されてはならないのです。もしそのようなことが起これば、真っ先に最大の被害を受けるのは子どもたちです。」とユニセフシリア事務所代表フラン・エクイザは訴えています。

生きようとする子供たちの命を守るために

ユニセフは、シリア国内と周辺諸国で広いネットワークを生かして子どもたちへの支援を続けています。

- 昨年は
- ・75万人近い子どもたちに、はしかの定期予防接種を支援しました。
 - ・100万人以上の子どもたちに、心理社会的支援を提供しました。
 - ・500万人近い子どもたちに、公式非公式の教育支援をしました。
 - ・給水システムを改善し、530万人以上の人々が安全な水を利用できるよう支援しました。
 - ・200万人近くの人々に、水やトイレ、衛生設備やサービスの支援をしました。



攻撃で破壊されたカンサラの小学校の教室
@Unicef/Syria/2020/HajSuleim



ポリオワクチンを接種する3歳の男の子/アレppo
@Unicef/Syria/2019/Al-Issa

紛争が10年目に入った3月15日にユニセフはシリアの子どもたちへの甚大な影響をまとめたインフォグラフィック資料「SYRIA9」を発表しました。

日本ユニセフ協会ホームページから日本語版をダウンロードできます。



資料:日本ユニセフ協会ホームページから

2019年 活動の記録 2019年1月~12月

【啓発活動】 出前授業・学習会等 19回 受講者数 1,232人

【広報活動】 パネル展・ポスター展等 6回

【募金活動】 募金を伴うイベント参加 18回

【賛助会員】 団体会員 10団体 一般会員 150人 学生会員 1人

【登録ボランティア】 36人 (2019年新規入会者 8人)

活動に参加したボランティアの延べ人数 347人

【県協会コードK1-210でお預かりした募金金額】

通常募金	2,972,947円
アフリカ栄養危機緊急募金	143,234円
シリア難民緊急募金	30,000円
水と衛生指定募金	20,000円
支援ギフト募金	3,200円

〈岐阜県全体の募金金額ではありません〉

【ユニセフ視聴覚ライブラリー貸出し】 26枚/10カ所

【会 議】 役員会(評議員会・理事会) 1月22日・7月16日

運営委員会 1月10日・7月2日

実行委員会 5回開催

スタッフ会議 12回開催



11月

県内JAの協力をいただき、各地の産業・農業祭、JAまつり会場で募金活動をおこないました。全5会場。どの会場でも声を掛けてくださるユニセフマンスリーサポーターがみえます。募金を通じて多くの方々がユニセフを支えてくださっていることを実感しました。



11月3日
かかみがはら産業・農業祭



11月17日
いびがわ産業フェスティバル

11月9日

JR岐阜駅北口で第8回ユニセフ子どもの広場&第41回ハンド・イン・ハンド募金活動を開催しました。

当日参加協力者105名 集まった募金金額146,002円



JA協力の輪投げゲーム



ガールスカウトのブース



大学生によるジャグリング



岐阜県学校生協のみなさん



長良高校生徒会のみなさん



岐山高校のみなさん

11月26日 中津川市立福岡中学校で出前授業をおこないました。

人権教育「ひびきあい活動」で、ユニセフの支援活動を通じて世界の子どもの状況を知り、自分たちにできることを考える授業をおこないました。ブルキナファソ現地視察報告、特に教育の支援についてお話をしました。全校190人の生徒たちはとても真剣に聞いていました。



募金をお預かりした、また、募金活動にご協力いただいた学校・組織・団体等です。(コープぎふ主催のハンド・イン・ハンド募金でご協力いただいた皆様を含みます)個人のお名前は掲載していません。

JAいび川
JAぎふ
JA岐阜中央会
JA全農岐阜
JAとうと
JAにしみの
愛知県立稲沢高校
愛知県立稲沢東高校
あま市立伊福小学校
恵那市立恵那東中学校
大垣市立北中学校
ガールスカウト岐阜県連盟
各務原市立稲羽中学校
各務原市立稲沼第二小学校
各務原市立桜丘中学校
笠松町日赤分団
(株)衣笠製麺
(株)クラ・モチベーション
岐阜アグリフーズ(株)
岐阜県学校生協
岐阜県立大垣東高校
岐阜県立岐山高校インターアクト部
岐阜県立関高校
岐阜県立関南高校
岐阜県立長良高校生徒会
岐阜県立飛騨高校インターアクト部
岐阜県立益田清風高校インターアクト部
岐阜聖徳学園高校
岐阜市立藍川東中学校
岐阜市立厚見小学校
岐阜市立厚見中学校
岐阜市立岐阜清流中学校
岐阜市立岐北中学校
岐阜市立女子短期大学生協
岐阜市立長森東小学校
岐阜市立長森南中学校
岐阜市立長良中学校
岐阜市立陽南中学校
岐阜大学生協
郡上市立大和中学校
子苑第一幼稚園母苑会
コープぎふ尾崎ファンクラブ
コープぎふ各地区エリア委員会
コープぎふ西ユニセフクラブ
コープぎふ訪問介護ステーション長良
こくみん共済COOP岐阜推進本部
城南高校
生活協同組合コープぎふ
西濃医療生協
西濃ピースあん
聖マリア女学院高校
関市生涯学習課
関市立下有知中学校
関市立緑ヶ丘中学校
全国大学生協連合会
高山市立日枝中学校
多治見市立多治見中学校
多治見市立北稜中学校
多治見市立南ヶ丘中学校
東海学院大学・東海学院大学短期大学部
東海コープ虹の会岐阜地域部会
特定非営利活動法人はたらくねっと
中津川市立福岡中学校
ボーイスカウト大垣第7団
ボーイスカウト岐阜県連盟
ボーイスカウト関第1団第2団
名鉄バス(株)
もだに農園

現在、受付中の緊急募金

シリア難民 新型コロナウイルス ロヒンギャ難民 自然災害
アフリカ栄養危機 人道危機